

地域社会の繁栄の核となる

# PHP「地域百年企業」経営者倶楽部 設立と参加者募集のご案内



「地域百年企業」とは、地域に生まれ、地域の人々に育まれながら、何代にもわたって営まれてきた企業です。「地域百年企業」には、地域の経済を担う「経済的価値」と地域社会の課題解決に貢献する「社会的価値」が存在します。

民間企業である以上、みずからの利益を追求することは当然です。しかし同時に、企業が依って立つ地域全体の経済と社会の課題解決に貢献することが、その持続的繁栄のためには必要です。「地域百年企業」は、地域社会と企業が共存共栄するための「公器」とも言えるのです。

この度、政策シンクタンクPHP総研が発足させることに致しました「地域百年企業」経営者倶楽部は、みずからの会社をこうした地域社会の「繁栄の核」に育て上げたい、これからも大切に継承していきたい、と願う経営者同士が集い、その実現に向けてともに学び合う切磋琢磨の場です。全10回の講師との対話や参加者同士の議論のなかから、「地域百年企業」に必要な経営理念やマネジメント方法についての学びを深めます。

スタートは2018年4月。本倶楽部の趣旨（下記）をご賢察の上、ぜひともご参加下さい。

## 1. 趣旨 ～経営者のみなさまへ問いかけたいこと～

### （1）目指すべきは、「地域百年企業」です

あなたが目指すのは、「フツーの会社」ですか。それとも「地域百年企業」ですか。

貴社が目指すのは「地域百年企業」ではありませんか。自己の利益を追求すると同時に地域社会の利益も図る。そうして何代も引き継がれてきた各地の「地域百年企業」。ことさらCSV（creating shared value）などと言わなくても、ずっと以前から「地域百年企業」は地域とともに生き、経済や社会を支えてきました。

PHP「地域百年企業」経営者倶楽部は、「地域百年企業」を体現する経営者やそのあり方に賛同する専門家から、地域とともに生きるということの根本思想や、共存共栄のまちづくりの実現方法を学んで、お互いに触発し合う切磋琢磨の場であり、継続的な交流の源です。

### （2）経営者に課せられた使命は、「公器の経営」です

あなたが希求するのは、「自社の利益」ですか。それとも「社会の利益」ですか。

地域とともに生きる企業であればあるほど、自社の利益とともに社会の利益を考える「公器の経営」が必要ではないでしょうか。「地域百年企業」を目指す経営者に課せられた使命とは、地域における経済的価値と社会的価値を創出するための明確なビジョンをもって企業経営を行うことです。

PHPの創設者・松下幸之助は、その著書「実践経営哲学」（1978年）の中で次のように述べ、地域とともに生きる企業のありよう（公器の経営）を表現しています。

「一般に、企業の目的は利益の追求にあるとする見方がある。しかし、それ自体が究極の目的ではない。根本は、その事業を通じて共同生活の向上をはかるというところにあるのであって、その使命をよりよく遂行していく上で、利益が大切になってくるのである。そこを取り違えてはならない。その意味で、事業経営とは本質的には私の事ではなく、公事であり、企業は社会の公器なのである」

こうした考え方を追求する政策シンクタンクPHP総研だからこそできる「学びと議論」。企業・自治体を含め、地域百年企業のあり方に賛同する経営者、専門家を講師に迎え、経営者が「地域百年企業」を実現する理念や実践方法を学び、みずからの経営現場に還流させる場として、PHP「地域百年企業」経営者倶楽部を始動させます。

## 2. プログラムについて

### 【プログラムの基本構成と進め方】

- ・第1～5日の各日とも、次のスケジュール（前半13-15時、後半15-17時）を基本に開催します。
  - 13:00 講義1、意見交換
  - 15:00 講義2、意見交換
  - 17:00 講義終了後、自由解散（第1回と第5回の終了後は、参加者懇親会を開催予定）
- ・各回とも1人の講師が60分程度の講話後、30分程度会員と質疑応答、意見交換を基本構成とします。各回終了後に20分程度の交流（兼休憩）の時間帯を設けます。
- ・事務局より、参加者から各講師への質問を事前照会し、その内容を踏まえた質疑応答を行います。
- ・最終回となる第10回では、参加者全員に受講を通じて得た知見等をもとに「地域百年の計」の一端を発表していただきます（各自5分程度）。

### 【各回のテーマ及び講師陣】

- ・下記の講師陣により本倶楽部を開催します。

### 【第1日：4月19日】「百年の計」の要諦を考える

第1、2回は、企業を社会的存在と捉え、株主の利益のみを優先するのではなく、地域社会への貢献を重視する「地域百年企業」の要諦をグローバルな視点から考えます。

#### 【基調講演（第1回）】「松下幸之助はなぜ、『百年の計』の必要性を訴えたのか」

松下正幸（まつした・まさゆき）〔(株)PHP研究所会長、パナソニック株式会社副会長〕

1945年、大阪府生まれ。68年慶應義塾大学経済学部卒業。同年松下電器産業（後のパナソニック）入社後、ペンシルヴァニア大学ウォートンスクールへ留学。米国での勤務の後、洗濯機事業部長、取締役、常務、専務を経て、96年副社長に就任。2000年より副会長。関西経済連合会の副会長として財界活動に取り組む一方で、サッカーリーグのガンバ大阪の取締役（非常勤）を務めるなど、文化・教育・スポーツの分野にも貢献している。



#### 【第2回】「いまなぜ地域百年の計が問われるのか（どう導くか）」

童門冬二（どうもん・ふゆじ）〔作家〕

1927年、東京都生まれ。第四三回芥川賞候補。日本文芸家協会・日本推理作家協会会員。東京都広報室長、企画調整局長、政策室長等を歴任。都庁在職中は、美濃部亮吉都政3期12年を知事のスピーチライターとして支え、都庁首脳として活躍。79年、美濃部知事退任と同時に退職し作家活動に専念。歴史の中から現在に通ずる実学を執筆し、新境地を拓く。『米沢藩の経営学（PHP文庫）』等、著作多数。



有馬利男（ありま・としお）

〔国連グローバル・コンパクト ボードメンバー、一般社団法人グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン 代表理事、認定NPO法人ジャパン・プラットフォーム 共同代表理事、富士ゼロックス株式会社 イグゼクティブ・アドバイザー（元社長）〕

1942年生まれ、鹿児島県生まれ。67年国際基督教大学教養学部卒業。同年富士ゼロックスに入社。総合企画部長、米国ゼロックス・インターナショナル・パートナーズ CEO、富士ゼロックス代表取締役社長を経て、2012年4月から現職。社長在任時に経営改革を推進する一方、「企業品質」コンセプトを打ち出すなど、CSR経営に尽力した。2007年から国連グローバル・コンパクトのボードメンバー。キリンホールディングス株式会社、株式会社りそなホールディングスの社外取締役に就任し、企業と社会的な活動を広げている。



#### 【参加者懇親会】

## 【第2日：6月1日】多様な経営資源を活かして強い事業をつくる

第3、4回は、「地域百年企業」として、持続性のある企業経営と地域社会への貢献を可能にする事業経営手法を、人財や地域資源の活用面から考えます。

### 【第3回】「多様な社員でイノベーションを興す経営」

川村慶（かわむら・けい）〔川村義肢(株)代表取締役〕

1969年大阪府生まれ。大阪体育大学卒業。大学卒業とともに義肢装具を製作する、家業の川村義肢に入社。2000年、父の急死を受け3代目社長に就任。以降、品質管理システムの導入等による製造工程合理化、技能継承、経営改善に取り組む。義肢・装具から、車いす、リハビリテーション器具、障害者スポーツ用品分野まで業容を拡大。障害者の能力発揮を含むダイバーシティ経営に取り組み、日々、障害者・高齢者の「諦めなくてもいい」を提供している。「経済産業省ダイバーシティ企業100選」受賞(2015年)。



### 【第4回】「森と山から学ぶ百年企業の育て方」

速水亨（はやみ・とおる）〔速水林業代表、株式会社森林再生システム代表取締役〕

1953年三重県生まれ。慶應義塾大学法学部政治学科卒業。三重県紀北町で江戸中期から続く家業(林業家)の9代目。1070haもの所有林をフィールドに“地域との共生、自然との共生”を目指した森林経営に取り組む。国宝など寺社仏閣の大径木を供給できる400年生の森林を育てている。講演会、林業塾等の活動も積極的に開催。2000年には、世界的な持続可能な森林管理認証であるFSC認証(森林管理協議会)を日本で初めて取得。内閣府事業仕分け民間評価人(仕分け人)、農林水産省林政審議会委員、(一社)日本林業経営者協会会長等の公職も多数歴任。著書に、『日本林業を立て直す 速水林業の挑戦』(日本経済新聞出版社)等、多数。



## 【第3日：7月13日】逆転の発想で喜ばれる社会をつくる

第5、6回は、企業の経済的価値と社会的価値を向上させた事例から、社会から喜ばれ、円滑な資金調達をも可能にする「地域百年企業」のありようを考えます。

### 【第5回】「マイナスをプラスに変える地域共生型企业」

石坂典子（いしがか・のりこ）〔石坂産業(株)代表取締役〕

1972年東京都生まれ。高校卒業後、米国の大学に短期留学。92年、父親が創業した石坂産業に入社。2002年代表取締役社長に就任。「脱産廃！地産地消型のビジネスモデル創出」を掲げ、ISO14001導入等、先鋭的な会社改革を断行。著書に『どんなマイナスもプラスにできる未来教室』(PHP研究所)、『絶体絶命でも世界一愛される会社に変える！』(ダイヤモンド社)、『五感経営—産廃会社の娘、逆転を語る』(日経BP社)等。



### 【第6回】「お金をミカタにできる“いい百年企業”とは」

小松真実（こまつ・まさみ）〔ミュージックセキュリティーズ(株)代表取締役〕

1975年、東京都生まれ。早稲田大学大学院ファイナンス研究科修了。2000年ミュージックセキュリティーズ合資会社設立。01年同有限会社設立。02年株式会社化し、代表取締役に就任。同社では、地場産業や消えかねない技術等に注目した事業の証券化事業(投資型クラウドファンディング事業)を運営する。東日本大震災を受けた「セキュリテ被災地応援ファンド」等、多数のファンド事業を手掛けている。



## 【第4日：10月30日】感動を地域と会社の力にする

第7、8回は、国の『日本再興戦略』の柱でもある観光、スポーツ振興。これらによる新たな地域ビジネスへの取組や地域を変える起業家の行動事例を参考に、地域百年企業の経営ビジョンやその具体戦略を考えます。

### 【第7回】「百年の計としての観光立国論」

デービッド・アトキンソン [(株)小西美術工藝社 代表取締役社長]

1965年イギリス生まれ。オックスフォード大学日本学科卒業。アンダーセン・コンサルティング等を経た後、92年ゴールドマン・サックス証券に移る。1990年代の日本の不良債権問題や銀行再編を予見しその名を高める。09年、(株)小西美術工藝社入社、11年より現職。日本の文化財政政策・観光政策に関する提言等も行う。15年、著書『新・観光立国論』(東洋経済新報社)で第24回山本七平賞(PHP研究所主催)を受賞。



### 【第8回】「スポーツとファンでつくる地域のビジョン」

水野勇氣 (みずの・ゆうき) [Bリーグ 秋田ノーザンハピネッツ(株) 代表取締役社長]

1983年東京都生まれ。中学時代からビジネスへの関心が高く、高校卒業後、アメリカに留学。2004年、秋田県に新設された国際教養大学(AIU)へ入学し、秋田と縁ができる。3年次にAIUの交換留学でオーストラリアのグリフィスへ1年間留学し、スポーツマネジメントを学ぶ。08年秋田プロバスケットボールチームをつくる会発足。09年26歳のときに秋田プロバスケットボールクラブ株式会社代表取締役社長に就任。

14年第20回東北ニュービジネス大賞『東北アントレプレナー大賞』受賞。17年経産省による地域未来牽引企業に選定される。



## 【第5日：11月30日】「公器の経営」で地域と共生していく

地域百年企業に必要な「利益追求」と自らが依って立つ「地域の経済と社会の課題解決」に向けた事業戦略の一端を、各参加者が「地域百年の計」として発表し、本倶楽部を総括します。

### 【第9回】「人と大地が一体となった生き方とものづくり」

黒木敏之 (くろき・としゆき) [(株)黒木酒造 代表、宮崎県高鍋町長]

1953年宮崎県生まれ。立教大学経済学部卒業。(株)ソニープラザを経て、80年(資)黒木本店入社。現在、株式会社黒木本店代表。ノーベル文学賞作家、ガルシア・マルケスの作品名をつけた「百年の孤独」の開発から販売までを手がける。

2017年より高鍋町長。高鍋商工会議所会頭等、公職多数。著書に『精進無涯(私の考える生き方)』。



### 【第10回】総括セッション「それぞれの百年の計について」の各自発表と総評

<意見発表> 各参加者の『百年の計』の発表

全参加者

<総評> 清水卓智 (しみず・たかとし) [(株)PHP研究所 代表取締役社長]

1956年山梨県生まれ。龍谷大学法学部卒業。80年PHP総合研究所(現PHP研究所)入社。創設者・松下幸之助による「一家に一冊」のかけ声のもと、入社以来一貫して「月刊誌PHP」普及を中心とした、直販普及活動に専念する。2011年より現職。現在、研究、各種雑誌普及の他、書籍、通信教育、DVDソフト、eラーニング、映像配信、企業研修など幅広い普及展開を統括。



### 【参加者懇親会】

※ やむを得ない事情により、プログラム、講師等が変更になる場合があります。予めご了承下さい。

### 3. 運営について

#### 【開催時期】

2018/4～2018/11にかけて、年間10回（1日2回、5日間）のプログラムを開催します。

#### 【会場】

PHP研究所東京本部(江東区豊洲 5-6-52)11階ホールを基本とします。都合により、会場が変更になる場合があります。

#### 【参加資格】

「地域百年企業」を目指したり、事業承継を考えている企業経営者・役員等。

#### 【会費と募集人員】

年間会費¥291,600（¥270,000+税¥21,600）、定員40名。最小催行人員30人。

#### 【成果物（会員特典）】

- ①各回の議事録（生）
- ②第10回時における参加者各人の意見集

#### 【お申込み方法】

所定の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、FAXまたはメールにてお申込みください。

宛先：PHP「地域百年企業」経営者倶楽部 事務局

FAX：03-3520-9653／E-mail：local\_governance@php.co.jp

#### 【キャンセルポリシー】

- ・平成30年3月末までに参加者数が最小開催人員に達しない場合、開催を中止させていただく場合がございます。
- ・お申込み後のキャンセルは、お受けできません。
- ・第1～第5日の講義録（テキストデータ）を配布しますので、ご欠席の場合も講義内容を共有できます。

#### 【事務局】

政策シンクタンクPHP総研は、PHP研究所のシンクタンク部門であり、本倶楽部事業の事務局を務めます。

（お問い合わせ先）

政策シンクタンクPHP総研

PHP「地域百年企業」経営者倶楽部 事務局

（講座内容に関する問い合わせ 担当：佐々木）

（経理に関する問い合わせ 担当：田邊）

〒135-8137 東京都江東区豊洲 5-6-52NBF 豊洲キャナルフロント 11F

TEL：03-3520-9612

FAX：03-3520-9653

E-mail：[local\\_governance@php.co.jp](mailto:local_governance@php.co.jp)

